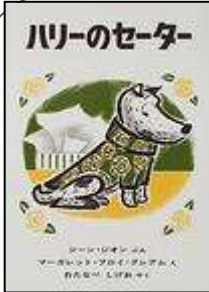


としょかん つうしん

12月号

12月号のテーマは「昔話・よみつがれ②」です。昔話やよみつがれ絵本の中には、お父さんやお母さんが小さいころに読んだ絵本もあるかもしれませんね。ぜひ、いっしょに読んでみましょう！



「ハリーのセーター」

年少向け

ジーン・ジオンぶん マーガレット・プロイ・グレアムえ
福音館書店

ハリーは、おばあちゃんから、誕生日プレゼントにばらの模様のセーターをもらいました。しかし気に入りません。出かけるたびにどこかに捨ててこようと試みますが、なかなかうまくいきません。ハリーがセーターのほつれを見つけひっぱり出していると、鳥がそれをみつけて、空に向かっていっちょくせん。いったいハリーのセーターはどこに……？ でも、クリスマスプレゼントにおばあちゃんからお気に入りの柄のセーターをもらってごきげんなハリー。「どろんこハリー」の続編で、30年以上も読み継がれクリスマスにもおすすめです。



「12のつきのおくりもの—スロバキア民話—」

内田莉莎子再話 丸木俊画
福音館書店

年中向け

スロバキアの民話です。マルーシカはいじわるな継母と姉と暮らしていました。真冬のある日、マルーシカは継母にすみれを摘んでくるように言われ、冬の森をさ迷い歩きます。もちろん雪にうもれた森にすみれなど咲いてはいません。寒さでごえそうなマルーシカは暖かそうなたき火を見つけ、近づくところには12つきの精たちがいました。マルーシカは12つきの精に相談すると美しい3月の精が雪を解かしてすみれが……。丸木俊さんの幻想的な絵も見どころです。



「じごくのそうべえ—桂米朝・上方落語・地獄八景より—」

田島征彦作
童心社

年長向け

とざいとうざい。かるわざしのそうべえ。ある時見世物で綱渡りを披露していたら、バランスをくずして綱から落ちて死んでしまった。気がついたら地獄へ向かう道。その途中、山伏ふっかい、歯ぬき師しかい、医者ちくあんと出会います。そうべえら4人はいっしょに地獄で大あばれ。ふんによう地獄にほうりこまれてもなんのその。とうとう4人は、鬼に呑みこまれてしまいます。しかし鬼のお腹の中でも大あばれ……。

「じごく」と聞くとこわいおはなしかと思われそうですが、上方落語の地獄八景を題材にした落語絵本で、鬼のふるまいや軽快な関西弁に思わず笑ってしまいます。